

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

だれもが「学びたい、分かった、できた」と実感できる授業づくり

～ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた学習指導の工夫・改善～

＜本年度の学力向上策＞

1 学習環境づくり

- ・教室環境及び学習環境を整備するために、ユニバーサルデザインの考え方から、前面黒板を掲示板とせず、教室前方の掲示物はできる限り控えるようにし、視覚的な刺激を調整し学習に集中しやすい環境づくりを推進する。

【学校の美しい環境づくりに積極的に取り組んでいますか（生徒）80%】

2 授業づくり

- ・導入の工夫や本時のねらいと、見通しを示し、何を学ぶのかを明確にすることで、教科の枠を越えた、一定化した授業の流れをつくり、授業構成の工夫・改善に努める。
- ・ICTの活用、板書の工夫等を行い、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた情報提示を行い、学び方を理解させ、分かりやすい授業の工夫・改善に努める。
- ・よい授業4つの因子と関連した分かる授業の数値化により、授業改善に役立て、学習指導の工夫・改善に努める。

【授業は、楽しくわかりやすいですか（生徒）80%】

【先生方は、授業を工夫し、生徒一人ひとりの学力をたかめようとしていますか。（生徒）80%】

【お子さまは、授業は楽しくわかりやすいと言っていますか（保護者）70%】

【学校は授業を工夫し、生徒一人ひとりの学力を高めようとしていますか。（保護者）70%】

【授業スキル第2回目の数値の上昇（よい授業アンケート）】

＜本年度の振り返り＞

1 学習環境づくり

- ・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、視覚的な刺激を調整し学習に集中しやすい環境づくりを推進し、落ち着いた学習環境で授業が行えるようになった。

2 授業づくり

- ・ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、一定化した授業構成や展開、ICTの活用、板書の工夫等による情報提示を行うことで、分かりやすい授業の工夫・改善に努め、肯定的な回答の割合が生徒・保護者ともに高まっていることから、引き続き取組を継続していく。